

硬蛋白質利用研究施設 第3期 中期目標

本学は、「世界が認知する研究大学へ」を学長ビジョンとして掲げ、世界に向けて日本を牽引する大学としての役割を果たすため

1. 世界と競える先端研究力の強化
2. 国際社会との対話力を持った教育研究の推進
3. 日本の産業界を国際社会に向けて牽引
4. 高度なイノベーションリーダーの養成

に積極的に取り組み、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する事を目的としている。硬蛋白質利用研究施設は、これに基づく中期目標・中期計画を策定し、更なる大学改革・機能強化を図るため必要な施策を実施する。

【研究】

本学中期目標である「2 研究に関する目標 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標 5・農学、工学及びその融合領域において世界と競える先端研究力を強化し、研究大学として世界的認知度を高める。」に対応し、細胞外マトリックスに関する研究を行っている研究機関との国際研究協力を推進する。

研究に関する目標を達成するための措置として、以下の2点を重点的に推進する。

1. 世界トップレベルの外国人研究者と国際共同研究を行い、国際共著論文数を増加させる。
2. 基礎研究力を強化し、産業界との協働によるイノベーション創出を推進するため産学官連携活動に資する外部資金への申請・取組を年2件以上行う。

【教育・社会貢献】

「3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

8・大学が有する物的資源及び人的資源を有効活用し、持続的な地域貢献・社会貢献活動を展開する。」に対応し、社会人が職業に必要とする高度な能力や知識を高める機会を提供するため、企業等の研究者を対象とした大学院課程における教育を実施する。